



令和7年度学校評価アンケート結果速報【肯定的回答※】

過日御回答いただきました、学校評価アンケートの速報値を報告いたします。宇都宮市の学校評価システムは、アンケート結果をもとに各学校が自己評価を行い、地域協議会が自己評価内容について学校関係者評価を実施します。取りまとめた学校評価書は、地域協議会、市教育委員会へ報告後、年度内にホームページにて公表予定です。学校評価は、児童がよりよい教育活動を享受できるように学校経営の改善と発展を目指し、教育水準の向上を図るための法律にもとづいた手段です。学校経営の更なる充実に向け、いただいた御意見等も参考にしながら、改善できることは改善し、検討が必要な部分は、協議を重ねてまいります。※肯定的回答:アンケートの【1-とても思う, 2-そう思う】の合計《市内小学校肯定的回答平均値との比較 は平均値を下回る》(%) 斜線は回答を求めない項目

質問内容		児童	保護者	地域住民
市内 共通 項目	1 <u>児童は</u> , 他者と協力したり, 必要な情報を集めたりして考えるなど, 主体的に学習に取り組んでいる。	90.2	90.2	
	2 児童は, 思いやりの心をもっている。	86.4	96.1	100.0
	3 児童は, 目標に向かってあきらめずに, 粘り強く取り組んでいる。	86.6	80.4	
	4 児童は, 健康や安全に気を付けて生活している。	89.3	93.2	100.0
	5 児童は, 自分のよさや成長を実感し, 協力して生活をよりよくしようとしている。	86.1		
	6 児童は, 英語を使ってコミュニケーションしている。	87.2		
	7 児童は, 宇都宮の良さを知っている。	87.0	79.5	
	8 児童は, デジタル機器や図書等を学習に活用している。	85.9	82.3	
	9 児童は, 「持続可能な社会」について, 関心をもっている。	85.7		
	10 <u>教職員は</u> , 特別な支援を必要とする児童の実態に応じて, 適切な支援をしている。			
	11 教職員は, いじめが許されない行為であることを指導している。	96.2	83.6	100.0
	12 教職員は, 不登校を生まない学級経営を行っている。	94.6	94.7	
	13 <u>学校は</u> , 一人一人が大切にされ, 活気があり, 明るくいいきとした雰囲気である。	95.7	94.2	100.0
	14 教職員は, 分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い, 学力向上を図っている。	95.3	90.0	
	15 学校に関わる職員全員がチームとなり, 協力して業務に取り組んでいる。			
	16 勤務時間を意識して, 業務の効率化に取り組んでいる。			
	17 学校は, 「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。	89.4	81.9	93.8
	18 学校は, 家庭・地域・企業等と連携・協力して, 教育活動や学校運営の充実を図っている。	87.9	91.1	100.0
	19 学校は, 利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。		87.9	93.3
	20 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から, 授業を行うための準備ができています。			
学校 独自	21 児童は, 時と場に応じたあいさつをしている。	85.2	80.5	93.8
	22 児童は, きまりやマナーを守って, 生活をしている。	91.9	94.6	100.0
	23 教職員は, 保護者と連絡を密にしながら, 指導に当たっている。		82.8	
	24 児童は, 学校や学級の中でお互いを認め合い, 尊重しより良い人間関係を築いている。	93.3	92.9	
	25 学校は, 学校だよりやホームページ等で学校の日々の様子を発信している。		92.2	100.0

ありがとう6年生 ～別れは人を成長させる～

2月18日(水)、6年生を送る会を実施しました。主催は児童会代表委員会です。5年生がリーダーシップをとり、環境づくりや会の進行を担当しました。内容は、2部構成です。第1部は体育館に参集し、各学年が感謝の気持ちを表現しました。第2部は縦割り班ごとに「解散式」を兼ねて6年生をお送りしました。第1部では、それぞれの学年のカラーがとてよく出ていて、6年生への感謝の気持ちが伝わりました。自分たちらしさを大切に、一生懸命に表現する姿がやなぜの子らしく最高でした。正に、私が目指す児童の姿でした。第2部の縦割り班解散式では、5年生が取り仕切りました。最上級生に向かうバトンタッチです。さて、校長の話では、ちょっとだけ真面目に、『別れ』について話させてもらいました。「別れ」を経験する際、我々は「心に傷がつく」状態になるそうです。人はその傷を癒すため、別れの際に「手紙を添える」、「言葉を添える」、「涙を添える」などの手段をとります。そして「別れ」をしっかりと経験することは、人として成長するのだそうです。まだ小学生とは言わずに、子供たちには一人一人が「別れ」に向き合ってほしいと思います。素直な子供たちの更なる成長を願います。



令和8年度からの給食費改定について

本たよりの前号で御案内のとおり、令和8年度は学校給食費の改定を行い、全学年ともに1か月当たり一人700円の増額を予定しています。増額の考え方は、中学年での算出を基本とし、2つの方向から算出して判断しました。

1つ目は、集金額全体に対して、給食食材9品目の物価上昇率の平均値、13.6%を乗じて算出する方法です。その結果、児童一人当たりの増額は1か月707円となりました。

2つ目は、各食材別【主食、副材料、牛乳】に分けて分野別の上昇率をもとに細かく算出する方法です。その結果、児童一人当たりの増額は1か月684円となりました。

これらから、児童一人当たり1か月700円の増額が妥当であると判断いたしました。これを受け、低学年の1か月の給食費は5,800円へ、中学年は5,900円へ、高学年は6,000円へ改定となります。

そのような中、報道等にもありますとおり、宇都宮市佐藤市長は令和7年度からスタートさせた「学校給食費保護者負担軽減事業」を拡充させ、これまで児童一人当たり1か月2,000円だった補助を令和8年度は1か月5,200円へ増額するとして、予算案の大綱を公表しています。この後、令和8年第1回市議会定例会に上程され、そのまま議決されれば、児童一人当たり1か月の集金額は800円以下となります。宇都宮市教育委員会は、議決後、4月に入ってから事業の詳細を学校へ通知するとしています。